

パリ五輪報告会 & 中村憲剛らが語る大学スポーツの未来



↑みんなで記念撮影

15回目となる専修大学スポーツ研究所シンポジウムが、昨年10月24日（木）に生田キャンパスで開催された。パリ五輪・パラリンピックで多くの大学生及び大学卒のアスリートが活躍したことを踏まえ、スポーツに果たす大学の役割をテーマに話し合った。

シンポジウムに先立ち行われたオリンピック報告会では、パリ五輪で活躍した現役専大生、ボクシング男子57kg級の原田周大さん（法4）とバレーボール男子の甲斐優斗さん（経営3）が大きな拍手で迎えられて登場。初出場の五輪を振り返った（関連記事14頁）。

シンポジウムでは、元サッカー日本代表の中村憲剛さん、日本スポーツ振興センター理事の久木留毅さん、元サッカー韓国代表で文学部教授の李宇諤さんが登壇。大学がスポーツを通して地域と交流することの意義や、大学4年間は人間性を磨く場でもあり、それが競技生活にも生きるといったこと、またトレーニング環境の整備で選手生命が延び、大学卒業後に活躍する選手が増えたことなど、話題は多岐に及んだ。

シンポジウムは体育会の学生も多く聴講。中村さんは「大学に来たことを遠回りと思わないでほしい。それまで伸び悩んでいても、自分次第で変わることができる」とメッセージを送った。質疑応答で中村さんと話した沼田竜さん（経営2）は「サッカーに取り組む環境について不安や迷いもあったが、決めるのは自分という言葉に、活力が湧いた」と語る。



↑オリンピック報告会にて、左から原田さんと甲斐さん



↑シンポジウムにて、左から久木留毅さん、中村さん、李宇諤さん



↑川崎フロンターレのユニフォーム姿で中村さんに質問する沼田さん

専大・石巻専大コラボ 神田で石巻をPR

専修大学と石巻専修大学の学生が協力し、石巻の魅力を発信するイベント「いしのまき祭り」が昨年10月27日(日)に神田キャンパスで開催された。400人が来場し、学生が調理した石巻焼きそば、石巻産カキのホイルバター蒸しに舌鼓を打ったほか、石巻川開き祭りを彩る七夕飾りの展示やミニ七夕飾りストラップ作りワークショップなどを楽しんだ。企画・運営に携わった専大生は「新入生歓迎!石巻交流セミナー」に参加した1年生24名。現地で学んだ内容を活かしたイベントとなった。



↑ 神田10号館の会場 ↓ 石巻焼きそばを調理 ↓ 専大生と石巻専大生が協力して運営



応援団写真展 世紀を超える情熱



専修大学全学応援団の歴史を振り返る写真展「世紀を超える情熱 母校にエールを」が昨年11月、生田9号館で開催された。現在進行中の『専修大学応援団史』(仮)の編纂作業を通し見つかった貴重な写真も展示し、大正初期から1世紀以上にわたり活動してきたその雄姿を伝えた。

→ 1959年秋季東都大学野球リーグ戦



↑ 1950年春季東都大学野球リーグ戦の優勝パレード



図書館で著名人のサイン展

「専修大学図書館を訪問した方々のサイン展」が生田キャンパスの図書館本館で昨年9、10月に開催され、直木賞作家の浅田次郎さんや森絵都さんをはじめとする著名人の直筆サインと著作が紹介された。学生にとっては、作品を読むきっかけになったのでは!?

